

## 平成 2 9 年度 事業報告

### 1 . 産学官連携交流事業の実施

大学・公設試験研究機関、関連団体及び地元中小企業との交流を通じて、新事業開拓、新商品開発、新分野進出を促進。

#### ( 1 ) 「地域を彩る食物語」の開催

開催日：平成 3 0 年 1 月 1 0 日 ( 水 ) ~ 1 5 日 ( 月 )

場 所：まちきた大通ビル 5 階 ( 高知県の観光と物産展との併催 )

参加機関：北見工業大学、東京農業大学、帯広畜産大学、長崎大学、日赤北海道看護大学、  
( 公財 ) オホーツク地域振興機構、北見市雇用創造協議会

講演会： 「食の宝庫北海道が放つ「北の災害食レシピ」

日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター長 根本 昌宏 氏

その他：事業紹介・成果品報告、ブースプレゼンテーション、パネル展示、商品即売会



(2)「第2回水素関連ビジネス展開促進勉強会」の開催(北海道主催)

全国的にも注目を集めている水素関連ビジネスへの道内企業の参入の促進に向け、理解や関心を深めていただくため、水素関連ビジネスの展開促進に関する勉強会を開催した。

開催日：平成30年1月26日(金)

場 所：北見芸術文化ホール

テーマ： 「将来の水素エネルギーの最大活用を目指して」

「『SHIP S(ソーラー水素iパワーステーション)』の開発」

講 師： (株)テクノバ エネルギー・水素グループ

グループマネージャー 丸田 昭輝 氏

長州産業(株) 新エネルギー事業部 新エネルギー推進課

水素事業係主任 板橋 勝 氏

2. オホーツク産学官融合センター・中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィスとの連携等

オホーツク産学官融合センター及び中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィスとの連携により、地元中小企業の取り組みをフォローアップした。

(1) 定期的な情報交換

北見工業大学、北見工業技術センター、オホーツク圏地域食品加工技術センター、北見商工会議所、北海道中小企業総合支援センター オホーツク支部、中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィス、オホーツク産学官融合センター、北見市による事業化案件の掘り起こしや支援方策に係る定期的な情報交換の実施。

(2) 市内の中小企業と大学・公設試験研究機関との共同研究の推進 4件

・オホーツク産ハーブの素材化と用途開発

(オホーツク圏地域食品加工技術センター)

・オホーツク産木材の香気成分を活かした知育玩具の開発

(北見工業技術センター)

・超小型PCを内蔵した小型河川監視・解析システムの試作開発

(北見工業技術センター)

・エゾシカあばら肉を活用したお酒に合う加工品(生ハム等)の開発

(東京農業大学生物産業学部)

### 3. 産学官連携による地元企業への支援体制の検討

北見市をはじめオホーツク圏域が抱える課題・問題点を整理し、継続した取り組みの中で地元企業への支援体制のあり方を協議した。

#### (1) オホーツク産学官融合センター事務局会議

開催日：毎月第1月曜日

場 所：北見工業大学社会連携推進センター

参集者：北見工業大学、北見工業技術センター、オホーツク圏地域食品加工技術センター、北見商工会議所、北見市、北海道中小企業総合支援センター オホーツク支部、中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィス、オホーツク産学官融合センター

#### (2) その他

当協議会のホームページ

([http://betelgeuse.aal.netvolante.jp/~kitami\\_srsk/tori.html](http://betelgeuse.aal.netvolante.jp/~kitami_srsk/tori.html))にて、産学官の連携により開催されるフォーラム・セミナー等イベントの情報発信を行った。

### 4. 会員団体等が取り組む産学官連携推進事業への協力

会員その他の関係団体等が産学官連携により実施する各種事業について、その事業内容や趣旨に応じ、共催、後援などの協力を行った。

#### (1) これなら出来る！ 地産特産 奥蘭流 いきいき活用のススメ〔開催協力〕

開催日：平成30年3月6日（火）

場 所：ホテル黒部

主 催：北見市技能普及実行委員会

内 容：講演

#### (2) 地元食材活用講習会

開催日：平成30年3月28日（水）

場 所：北見工業大学 社会連携推進センター 2階

主 催：北見市技能普及実行委員会

内 容：講演

#### (3) COC+（文部科学省：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業）実施にかかる協力

北見工業大学より、平成29年度 COC+事業の一環として、学部1年次を対象に実施した、講義「オホーツク地域と環境」に対し、協力を行った。

## 5 . 共同研究の推進・関連研究団体等への支援

調査研究の他、調査研究を行う団体等と連携を図るなどの相互協力により、更なる産学官連携の促進を図る。

(共同研究)

テーマ：1)「厳冬期の災害に伴う避難所生活を想定した QOL 向上を目指す試み」

研究者：日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター 根本 昌宏 教授

テーマ：2)「エゾシカ肉及びオホーツク牛肉のブランド価値向上のための研究」

研究者：国立大学法人北見工業大学 地球環境工学科 武山 真弓 准教授